

ぽっかぽか

R5. 9. 28

園長だより NO.4

富士市立天間幼稚園



本日はお忙しい中、奉仕作業、参加日のご協力ありがとうございました。また、PTAバザーの準備など、早くからご尽力いただき、感謝いたします。今年は猛暑の日が続き、戸外で思い切り遊ぶこともできない日が多かったのですが、ようやく秋らしい気候の日も出てきました。過ごしやすい日が少しでも長くなるといいなと思っています。

この時期のねらいや、子ども達の育ちなどをご紹介しますので、運動会や参加日の様子、今後のクラスだよりなどと合わせてご覧ください。

年少の運動会のねらい「教師や友達と一緒に遊ぶ楽しさを知る」

速さを比べたり、競ったりすることよりも、「みんなと一緒に遊ぶと楽しいな。」「体を動かすのが楽しい」「見てもらうのが楽しい」という思いを年少の時にたくさん感じてほしいと思い、接しています。また、「年中さん、年長さんってすごいな。」「ぼくも、わたしもやってみたいな」と他の学年の様子を見ることで、憧れや興味が広がるきっかけになっていく時期なので、ぽっかぽかの仲間と過ごす場や、他学年を見る場も大切にしています。



年中の運動会のねらい「いろいろな遊びに興味をもち、自分から取り組もうとする。」

友達と関わって遊ぶことが多くなってきたちょうどこの時期に、友達がやっていることや、年長児の挑戦に刺激を受けて、登り棒やうんていなどの固定遊具に触れようとする子が増えています。個人差もまだ多い時期なので、そこまで興味もない子もいます。けれど、「ちょっと苦手だけれど、やってみようかな…」「やってみたらできたぞ。」「足が速くなったみたい。」自分の体も成長していることに気づきながら、思いきり体を動かして遊ぶ楽しさそのものに目覚めるきっかけになるといいなと思って日々を過ごしています。



年長の運動会のねらい「友達と刺激し合い、自分なりに工夫したり挑戦したりする。」

勝負の勝ち負けがわかり、勝ったらうれしい負けたら悔しいという気持ちがはっきりと育つ時期です。「勝つためには、どうしたらいいか。」を仲間と考え合ったり、どうしたらもっと面白くなるか、アイデアを出し合ったりすることもできるようになります。自分たちの「運動会」という意識が出てきて、準備や片付けも張り切って行う姿が見られます。「てつぼうができるようになりたい」と何を頑張るかもはっきりしてきて目標が出てきます。運動会一日のことではなく、毎日毎日、コツコツとみんなで振り返りながら、自分たちのやりたいことに向けて取り組む姿に寄り添っています。



3学年の育ちの違いをざっとご紹介しました。1人1人の思いや成長は、また、それぞれに違うと思います。ぜひ、お家でも、お子さんの言葉に耳を傾けてみて、普段の様子を感じ取っていただけたらと思います。

子どもの権利の尊重について

最近、虐待のニュースが後を絶ちません。家庭に限らず、様々な保育施設でもいろいろな問題が起きています。私達自身も身を引き締めて、子どもの人権を考える毎日です。

そんなとき、国連の子どもの権利条約に大きな影響を与えたポーランドのコルチャック先生の考えを見直します。自分の行いを振り返るきっかけになります。

- ★子どもは愛される権利をもっている。自分の子どもだけでなく、他人の子どもも愛しなさい。愛は必ずかえってくる。
- ★子どもを一人の人間として尊重しなさい。子どもは所有物ではない。
- ★子どもは未来ではなく、今現在を生きている人間である。十分に遊ばせなさい。
- ★子どもは宝くじではない。一人一人が彼自身であればよい。
- ★子どもは過ちを犯す。それは子どもが大人より愚かだからではなく、人間だからだ。完全な子どもなどいない。
- ★子どもには秘密をもつ権利がある。大切な自分だけの秘密を。
- ★子どもの持ち物を大切に。大人にとってはつまらぬものでも、持ち主にとっては大切な宝。
- ★子どもには自分の教育を選ぶ権利がある。よく話を聞こう。
- ★子どもの悲しみを尊重しなさい。たとえ失ったおはじき一つであっても。また死んだ小鳥のことであったとしても。
- ★子どもは不正に抗議する権利をもっている。圧政で苦しみ、戦争で苦しむのは子どもたちだから。
- ★子どもは自分の裁判所をもち、お互いに裁き裁かれるべきである。大人たちもここで裁かれよう。
- ★子どもは幸福になる権利をもっている。子どもの幸福なしに大人の幸福はありえない。

資料：日本ヤヌシュ・コルチャック協会

子どもの思いを、1人の人間として、大事にしていきたいですね。



保護者による絵本読み聞かせについて

幼稚園では、各クラスで絵本の読み聞かせを毎日しています。絵本を観ながら、物語の登場人物になったり、まだ知らない世界を体験したり、友達と同じ場面で笑い合ったり、想像を膨らめたりすることを楽しんでいます。そんなホッとするひとときの時間を、お家の皆様にも体感していただきたいなと思っています。そして、先生の代わりに、たまにお友達のお母さんやお父さん、おじいちゃん、おばあちゃんの声、絵本を観る場があったら、絵本の世界をまた違った思いで楽しめるのではないかなと思っています。

★10月27日（金）13：30～

まず、どんなふうに先生たちが読み聞かせをしているのか、見に来ていただく場にしたいと思います。興味のある方は、ぜひ、お声がけください。

★11月24日（金）13：30～

保護者有志による読み聞かせの第一回目を行いたいと思っています。ご参加お待ちしております。